



銀谷の

かなや

たなばた

七夕

キラキラ光る星空と白銀

日本遺産に認定された銀山のまちに
いまでも残る「七夕さん」の風景を
のんびり歩いて、楽しんでください。

**おもしろ短冊
コンテスト開催!**
4施設に設置されたポッククスで投票を
受け付けます。クスツときた作品には
景品をプレゼント! 詳しくは裏面を

2023

7月8日 土

[時間] 9時~17時

会場

朝来市旧生野鉦山職員宿舍(甲社宅)
生野まちづくり工房 井筒屋
口銀谷銀山町ミュージアムセンター(旧浅田邸)
朝来市観光情報センター

生野の七夕飾りは、縁側の
軒下に二本の笹飾りを立て、
その間に細い竹竿や麻のオガ
ラを渡すと、そこに千代紙で
作られた幾枚もの衣(着
物)を掛け並べるものです。華
やかな振袖、簡素な平袖、か
わいい筒袖……まるで小さな
着物を虫干ししているかのよ
う。けれど、色々な形の紙衣は、
神社のヒトガタにも似て、みな
三角にとがった頭を持っている

のです。これを生野では「七夕さん」と呼び、数が多い時には渡
す竹竿を一段、三段と増やして飾ります。その下に文机を出
して、茄子や胡瓜、南瓜などの野菜を据え、天の二星にお供え
します。このように紙衣が七夕飾りの中心に置かれる構図は
全国的にもめずらしく、生野以外では、大塩や的形、白浜、曾
根など播磨灘沿岸地域で見ることができません。

初節句を迎える子どものために「七夕さん」(紙衣)を祝
うと、その子が着るものに不自由しない、女兒なら裁縫が上
達するとして盛んに飾られたのは、生野においては、昭和三十
年代までのことだったでしょうか。実際、平成十五年の七夕に
生野を訪ねたときには、伝承の七夕飾りを行う家は一軒も見
つけられませんでした。それが、七夕文化研究会のメンバーと
もに訪問した平成十六年には地区ごとに高齢の方々が集まっ
て楽しめる七夕会があり、その場には昔ながらの「七夕さ
ん」が登場することを知りました。帰り際、生野の紙衣は素
晴らしいものだから、皆さんの力でぜひ復活を、とお願いした
ことでしたが、以降、町並保存や町の活性化を推進する施設
また、郷土愛にあふれる方々のお力によって、年を追うごと、町
に七夕の飾りの数が増えていったのです。

◎「銀山の町の七夕/尾崎織女(おさきあやめ)」より抜粋



◎お問い合わせ

生野ひいきの会支援事業

朝来市観光情報センター

〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷229-5 tel. 079-679-2222

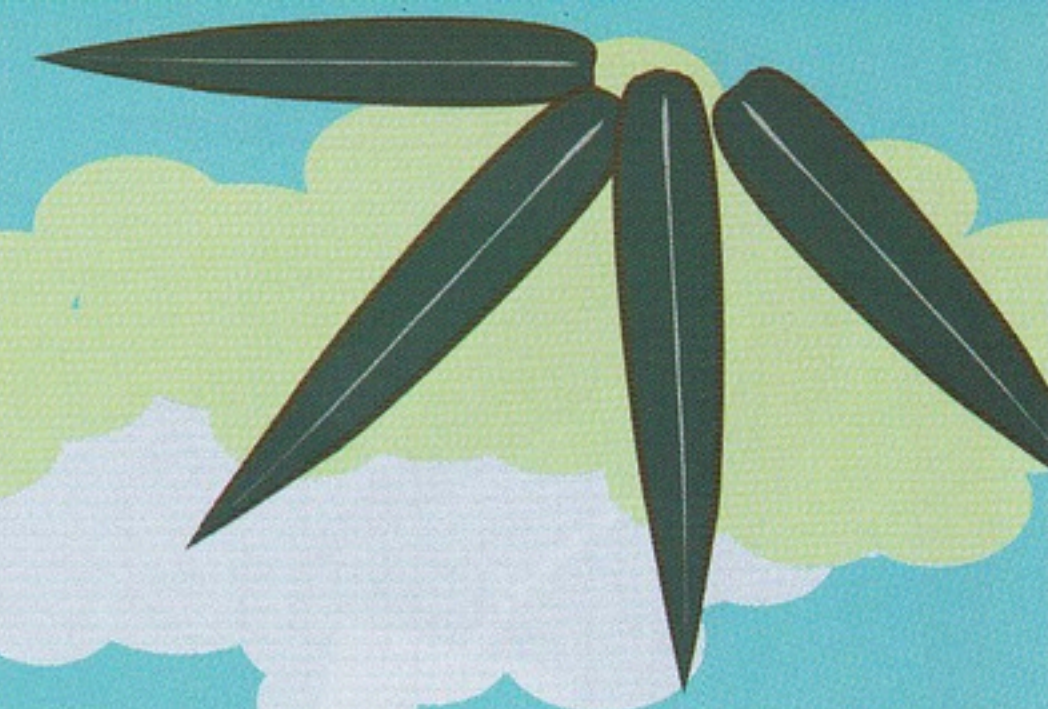
七夕

たなばた

銀谷の

かなや

二本の笹飾りと千代紙で作られた紙衣。
生野の七夕には全国でも数少ない風習が
町の暮らしのなかで息づいています。
日本遺産認定の鉾山町の町並みを散策して
古き良き時代の風情を感じてみませんか。



生野町の主要文化財一覧

A 旧生野鉾山職員宿舎
志村喬記念館
〈朝来市指定文化財〉

B 桑田家住宅
〈国登録文化財〉

C 生野まちづくり工房井筒屋
〈国登録文化財〉

D 佐藤家住宅別邸
〈国登録文化財〉

E 東西寺
〈兵庫県登録文化財〉

F 今井家住宅
〈国登録文化財〉

I 旧生野警察署
〈朝来市指定文化財〉

G 松本家住宅
〈国登録文化財〉

J 旧海崎医院
〈国登録文化財〉

H 旧日下旅館
〈国登録文化財〉

K 綾部家住宅
〈国登録文化財〉



観光情報センターには、パンフレットやお土産物があるよ♪

おもしろ短冊コンテスト開催!

思わずクスッと笑ってしまうような願い事を募集します。実施施設に設置された短冊に記入してボックスに投函ください。当選は、下記QRコードのリンク先にて7月中旬に公表します。メールでも同時に受付いたします。(7/10必着)下記メールアドレスにご応募ください。
funny_contest@ikuno-kankou.jp



おもしろ短冊コンテスト HP

